



日用食性便覽





日用食性便覧卷之三

○無鱗魚類

鱧魚

鱧魚

鱧魚の鱗を去りて煮たりと脚氣風氣

のどがくろくともおんかみれりて

かろくとも治るといふ酒後とれ

らひ又瘡あり人食とてうす成

問云本草鱧魚と記とありと按

とらふ俗所謂いびと異なり

是下ろく鱧魚味性本草と同し

何んが別とせしんや平巻云あり

故に鱧魚と記とありと記



状を異なりたり。此は... 毒と又... 妊六ヶ月... 史婢初産... 腹中鳴動... 肛門脱... 黄赤色... 黄滑乃尿... 一升計... 性大... 山本氏正次...

食す... 嘔嗽... 癥瘕... 小疝... 小疝心

鮫魚 氣味... 毒胃

ひ... 膀胱... 野

鯀魚 氣味... 温毒六府

補... 肌肉... 肺大腸

水腫... 小便... 痔下

血脱... 疝... 疝

黄鯀魚 氣味... 毒胃

すり酒とこま一水腫と治一小便  
と利と○荆芥ふ反とくとあも  
鱈魚 氣味平有毒瘕疾と

治一実乃疾と治と  
河豚 氣味平温有大毒瘕と

神ハ濕氣ととらうりやとあも  
痔とろととひりととあも○煮  
のへあふはふゆがとと人ともあも  
煤乃入るととひ海乃りめと毒あ  
ア江のりの毒すといふ江豚と  
合して一日乃内湯茶と服と  
一荆芥 桔梗 耳草 烏頭 附子  
菊花と相反ととと毒ふわとと若  
ハ至宝丹或ハ橄欖又龍腦とと  
くあふととととととととと

一方ハ槐花少つら 乾蒸脂ホ  
厚く粉とくと水とととととと

つらハ肝及子 大毒あり口と  
ハ舌とたつとハ腹と入ハ腸とた

らうと橄欖 本蘆根汁と  
海脫魚 氣味鹹腥 大毒飛ア

実毒瘕瘕と治と  
比目魚 氣味平平 大毒瘕と

かるとふひ氣力とますのガ  
食とれと氣とととと

鱈魚 氣味平平 無毒鱈と  
ろくくと又毒と補少切 鯿魚と

ろくとすとふはくらくとふ益あり  
烏賊魚 氣味酸平 無毒氣と

ろくととととととととととと

海一血虚一、面色黒と治す

〇風氣とく、人か合とく

魚 氣味平酸平、無毒、月經の

痛病小、婦人常小、合とく

〇脾胃虚乃者、合とく

〇合とく

章魚 氣味平、鹹寒、無毒

血と平、氣と平

石距 氣味性平、魚、同

海鰻魚 氣味平、鹹平、有小毒

男子乃白濁、淋病、玉莖、乃云

痛と治と、〇痢病小

文鮮魚 氣味平、酸、無毒、狂と

婦人難産、小燒

陰、乃とく、一、二、兩、服とく

魚師 氣味酸、無毒、肝と利

〇中満脾胃、笑す者

〇合とく

魚 氣味平、平、無毒、脾胃と補

魚 氣味平、酸、温、無毒、生ハ膈

と治す、脾胃と潤、〇お

〇合とく

〇血とく

〇瘡とく

乾魚 脾胃と補、飲食とく

〇合とく

〇病小

鼠頭魚 氣味平、淡平、無毒、又

藏と利と、〇濕熱とく

〇合とく

中満嘔吐ちゅうまんおうと 小児心せうじしん

鱈たら 氣味平淡平無毒水燻煎きみへいたんへいむどくすいじゆんせん

遺尿失禁乃人食いせうしつじん乃じんじく

すべりす

海參かいさん 氣味平鹹平無毒元氣きみへいけんへいむどくげんき

と補ひ又養大府とらうほり三焦とほひまたうやうだいふとらうほりさんせう

乃火熱とらう鴨肉とらうく烹て乃ひえつとらうかづにくとらうくひやくて

食とらうの勞性虚損乃猪疾と治とじくとらうのらうせいじゆじん乃しゆじやくとじゆと

猪乃肉とらうの煮とらうの食とらうをしゆ乃にくとらうのにくとらうのじくとらうを

肺虚欬嗽と治と。乃らう食すはいじゆかさいとじゆと。乃らうじくす

とらう痰とらうの胃とやうとらうたんとらうのいとかう

海鼠かいしゆ 氣味鹹平無毒諸病きみけんへいむどくしよびやう

とらうの脾胃虚寒者食とらうをとらうのひい胃じゆかんしやうじくとらうを

海參腸かいさんちやう 氣味鹹微毒無毒痰きみけんびいどくむどくたん

とらうの脾胃虚寒者食とらうをとらうのひい胃じゆかんしやうじくとらうを

海蛇かいだ 氣味鹹温無毒婦人乃きみけんぬんむどくふじん乃

勞損積血滯下小兒乃風疾丹毒らうとんせきけつちやうせうじ乃ふうじやくたんどく

と治し湯火乃やうとらうをとじしゆゑひ乃やうとらうを

鰈たか 氣味平温有小毒小兒乃きみへいぬんせうせうせうじ乃

未益腫と搗く乃をとらうをみやくしゆとちやく乃をとらうを

あしし食とらうをこし痰治し瘡癩あししじくとらうをこしたんじゆしじやうれい

と托し乳汁を下し陽道とことたくしにゅうじゆをげしやうだうとこ

くんしす。水田溝渠よせとらうのくんしす。すゐでんこうけいよせとらうの

ハ毒ありひびきとらうを思とらうのハどくありひびきとらうをおもとらうの

并小煮して色白とらうの食とらうをへいせうにきてしやくはくとらうのじくとらうを

すおりの食とらうを風とらうをすおりのじくとらうをふうとらうを

瘡疥冷積とらうを風熱病よじじやうせうれいせきとらうをふうねつびやうじ

小兒食とらうをせうじじくとらうを

海鰈かいたか 氣味平平有小毒乾きみへいへいせうせうどくけん

とらうの食とらうをとらうのじくとらうを

いんじょう... 胃腸... 胃腸... 胃腸...

鱈魚 肉 氣味 辛 温 有小毒 五

藏 利 氣 陰 積

食 積 積

積 積

▲は 氣味 辛 温 無毒 又 藏 利

肺 大腸 補 血 熱 人 食 守

止 痛 脾 胃 虛 弱

乃 人 食 止 腹 痛 滿 悶 吐 泄

滑 腸 乃 類 皆 毒 あり 食 止 へ び

換 あり 益 あり

鮫魚 氣味 辛 温 無毒 魚 肉

乃 癩 血 止 骨 節 崩 血 止

乃 食 止 積 多 あり

鮫魚 氣味 辛 温 無毒 竹 木 乃

肉 小 毒 あり 骨 節 痛 止 骨 節

と どり て 吐 け 出 肉 止 骨 節

打 傷 血 止 骨 節 痛 止 骨 節

於 子 乃 市 小 賣 乃 食 止

す ぐ 毒 魚 乃 腸 胃 乃 知 ず

魚 鱈 氣味 辛 温 無毒 冷 氣 濕

痺 止 骨 節 痛 止 骨 節 痛 止

中 乃 氣 結 酸 水 乃 治 胃 弱 止

陽 道 止 骨 節 痛 止 骨 節 痛 止

乃 骨 節 痛 止 骨 節 痛 止

傳三  
どのむとたつれはと生と夜病  
は食すまも胃とぞんぞ

魚鮓 氣味鹹酸平無毒下痢

膿血と治と人とすやふで力

とおひ。脾胃虚をふむ脾

熱実痰食とくもどおそ魚

皆瘡とわらひすす乃固小髪あ

まこ人よまろとたたまふまろと

一ハ胃とぞんド疾とわと諸

のすまろろと麥稈の蜂蜜と

同ト食とくく平消渴を以ん

をまろ又鱗魚乃能を隆を

水龜 氣味甘酸温無毒煮

く食とれハ濕痺風痺分腫

柳筋骨の久くく心又を

治一厚血血痢とく心酒小釀て

大凡緩急も良くも心まは

ハ久くく人くあまろくく

○六甲子日十二月く小食とく

らぞ神とくこあハ丸貫と目く

食とれをくとあ

蟹 氣味鹹を有毒毒じの

うら乃氣熱結痛面くく

そく瘰癧と平血とちじ氣と

まろとらとや一ハハ胃の氣と

おまの後脈とくのハ食と消と同

丸ハ宿血とるづり産後乃血同と

中ハ醋湯とくそて煮とて

よ一ハ乃腹の中よ



邪魅とくろく。六足四足のみの六  
 毒あり又由元の中小生して今  
 見え走りその海中の蟹より  
 て腹の下より又小蟹の尻より  
 の並よ食とぐくばくもあか  
 ぬふと食とれし子よこふま  
 風よりくふ人食とぐくす  
 酒酔 氣味鹹を毒小兒の  
 瘡氣と治し熱氣とさす  
 鱈魚 氣味辛鹹平微毒あり  
 痔漏と治し寒とあはれと。治す  
 食とれし嗽及瘰癧とやと  
 ○ 蚌蛤類  
 牡蠣 氣味丹温辛毒煮て虚  
 損と治し中より人の丹毒と解し

欠食すもこしとくすもや  
 又といひくくくくくくくく  
 此酒は煩熱と治す  
 蚌蛤 氣味辛鹹冷毒のこし  
 とやめ熱とくく酒毒とくく眼乃赤  
 とくく目とあはれくくくくく  
 婦人の勞損下血帶下痔瘡と治  
 とのおく食とせと風とあはれ冷  
 氣とくくく  
 馬刀 氣味性くあがりく  
 蟻 氣味辛平辛毒能くあがり  
 小月。治く食とれし風とくく  
 中満乃くふ心  
 規 氣味辛鹹冷毒毒時氣と  
 くの胃とひくく丹石乃毒

濕とろぞと乳と海し暴熱とさら  
目とわさうろく小使と利し肺氣  
酒毒と治と

石決明 氣味辛鹹平無毒精と

とまし牙とろうくし淋病と海し目  
の風熱骨蒸勞極と治と諸病

ふいまいび串あまびなう

文蛤 氣味鹹平無毒又痔瘻

瘻咳逆胸痺女子乃崩中漏下

と治しかきととやめ小便利瘻

と治し鼻乃中の蝕瘡と治と

○指の食とれとひととあまび文蛤と

つやぐいと訓どあやまらなり  
蛤劑 氣味鹹冷無毒又腫と

消渴とやめ酒ととまし胃と

と婦人乃血塊と治と○丹石と

とくく相及ととましと食と

煙 氣味辛温無毒又虛と

れひ冷劑と治しひの中の邪

熱いきれととるもとと婦人産

後の虚損と治と○とりの病は

食ととるくび

車螯 氣味辛鹹冷無毒酒毒

消渴癰腫と治と○とる食ととす

魁蛤 氣味辛平無毒又瘧と

子河消渴ととる開節と利し

胃とととやめ中とととめ陽と

おし血とととと食ととと心腹乃

冷氣 腰脊乃冷風 癆瘵 洩痢 便  
濃血と治と 丹石と眼と 久食と  
一陰腫 熱毒と生す 久と久  
○灸人百す 久の久益あり 食いと  
くれと久と久と

石脚 氣味 耳鹹 平 無毒 小便

と利と

淡菜 氣味 耳温 無毒 虛勞

久刺 久と久と 精血 久と久と 益

崩中 帶下 瘕瘕 乃厚 血結 腹内

乃冷痛 乃治 乃久 乃久 乃久 乃久

と久 宿食 久と久と 癭氣 久と久と

丹石 久と久と 腸結 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

久と久と 久と久と 久と久と 久と久と

いふかかろくさるの熱とやらんふ

ぼと利し酒とさる水腫と消

黄祖及胃痛病脱肛痔漏と消

藜蘆 氣味辛平無毒飛尸

遊蟲と消と生とく姜 醋少

〜食す

寄居炭 顔色とす〜志と〜

海月 氣味辛平無毒氣と

〜中と〜の〜又藏と利し便

と消〜腹中の宿物と〜

食とす

海燕 氣味鹹温辛毒陰兩小

損痛乃かろく小考と汁と眼と又

陽と滋菜小入〜

海柳 氣味鹹を無毒瘰癧

結核胸中爵氣乃び〜

○脾胃虚を〜科的と〜消〜

○禽卵 水會類

鶴白鶴 肉氣味鹹平氣力とす

血の虚令と〜わひ凡と〜肺

と〜勞弱乃者小〜。蛇と

ら〜故〜毒あり凡老人虚令よ

ハ少用の産〜壯子腎虚陰虚

勞嗽産後血〜者おひ〜食

す〜害と〜

鶴卵 氣味耳鹹平辛毒瘰癧

の毒と解と小兒〜預〜物と煮

〜食せ〜ひ〜疔瘡おひ〜成

とす〜と〜

鵝 骨氣味辛大寒〜毒鬼盡

諸症毒五尸心腹乃痛の如く脚  
骨及嘴喉痺蛇の如く小兒  
のふくみくさすれでさくさく

けくふくふ汁ふ煮く用也

鶴卵 鶴乃卵と性同卵

鶴鷄 氣味并温之毒寒と

ろく寒乃ととと人。形鶴乃こ  
ととととと頭あつらどあ乃頬  
くまなひなり

鷲 氣味并平無毒五藏と利

一消渴と必丹石と服さく人  
ととと。俗唐名とつおは食  
とれと瘡さくやまひとれとく  
ととととと

白鶴膏 氣味并微毒無毒耳

乃あつたふさくふ入ととと  
皮膚とととと足乃皸裂と  
一瘰癧ととと

鴉 氣味并平無毒凡とととら  
ひさりうことあ氣かよととと

治一傷骨ととと今乃勞瘦と捕  
ひ臙腑と利一丹石乃毒と解と

○七月食ととととととととと  
ととととととととととととと

鵲 氣味并平毒氣力ととと  
臙腑と利と

鴛鴦 氣味并冷微毒乃ととと  
ととととととととととととと

通と和一小兒乃驚痛ととと一丹  
毒と解一熱劑ととととととと

毒と解一熱劑ととととととと

毒と解一熱劑ととととととと

毒と解一熱劑ととととととと

毒と解一熱劑ととととととと

毒と解一熱劑ととととととと

毒と解一熱劑ととととととと

毒と解一熱劑ととととととと

めしりあつたりのむす  
毒あり申とありし冷とあり  
脚氣と利と目乃白くさるる  
ところを嫩くその毒あり老  
う腸風下血乃へ食とさう  
殺鳥卵 氣味辛鹹微寒無毒心  
版胸膈乃熱とさう極よめ  
食とせし小兒乃泄痢と治と極  
よく炒り血痢のそと。老る食と  
是と冷氣とわく令とさう氣  
短背阿せし小兒おめく食とれ  
よありし

鳧

氣味辛涼無毒中と補  
氣とさう胃とさうさう一三種  
の皮と乃さう各腫と治と

諸女熱瘡久愈さるるの  
ゆとと食すましく昂る。保  
上と守尾乃さうりのこもふけく  
九月のぼよま以蒸く大よ人小益  
あり胡桃木耳豆豉と合く陰  
鵝鶩 氣味辛平無毒中と補  
ひれとまひ  
北鳥鶩 氣味鹹平有小毒酒  
ひくさくあり食とれ瘰癧と治  
と美腫とさうて食とまひ人  
とやとと支婦不和ありのよひ  
うあえく食とさうとさう  
いひくさくありさう灸食とれ  
夢寐思慕乃もの治と。夢  
く食とせし大凡

北鳥鶩

氣味鹹平有小毒酒

鵝鶩

氣味辛平無毒中と補

鷓鴣

氣味并鹹平無毒

食之入魚必入毒

鷓鴣

氣味鹹平無毒

治一脾

ゆーく食とどし

鷓鴣

氣味并無毒

鷓鴣

氣味酸鹹冷微毒

入腹と鼓脹と治

骨乃たら

魚狗

氣味鹹平無毒

杯色の骨肉

一或ハ煮

原禽類

雞

鷓鴣

鷓鴣

雞小五

補ひ虚

つゝゝ氣味性

び大

の死

ぢう

らり

一漏

ら

魚

一

一

食をいれ道アを生葱を食ふ  
ハ疾痔と生ハ穉者向く食す

且ハ疔虫と生ハ小兒五歳  
以下食を止む疔疾と生ハ

丹雄鶏 氣味辛微温無毒  
崩中漏下赤白沃淫補心

とわくめ血痛と効め久し  
とと中津とあり肺と補心

毒ととろし不祥ととろ  
白雄雞 氣味酸微温無毒

ととと一五歳ととと一狂非  
湯と治し小便と利し中とと

丹毒風ととと  
鳥雄雞 氣味辛微温無毒

と補心とととと風濕ととと

くらし鷹血と治し胎ととと  
黒雌雞 氣味辛酸温平無毒

風を温めとびと胃ととと  
とととととととととと

乳癰とととととととと  
らいらとととととととと

め非血の氣血和とのとと  
中の氣血とととととと

胎とととととととと  
及乃屋羸と補心

黃雌雞 氣味辛酸鹹平無毒  
傷中消渴小便とととと

とととととととととと  
とととととととととと

は虚羸と治し冷血ととと



小ほくしの精を合しこく精と  
し陽氣とたすも髓とく小腸  
とわくめ小氣を補ふ

鳥骨雞 氣味平無毒  
弱と補ひ術湯中致心腹痛とい

ず婦婦とより女人の崩れと  
ららたがり一さいりさそん諸病

大人小兒三がりりさそん  
て合と汁とのもをこく

鶏冠血 烏雞の血乳癭と治

と目りさそんやまさるい  
三夜とくく丹雞の血ハハ分  
まけ六経終りわびる風熱とさ  
ふはげさそんかきさ小頬小  
わりりさそん

雞血 氣味鹹平無毒  
くぐいのりさこくさあびりか  
版のつこ乳難小兒乃下血故  
るさそん治し辣とやとし  
あるさそん

雞腸 氣味平無毒  
くぐいのりさこくさあびりか  
版のつこ乳難小兒乃下血故  
るさそん治し辣とやとし  
あるさそん

雞卵 氣味平無毒  
くぐいのりさこくさあびりか  
版のつこ乳難小兒乃下血故  
るさそん治し辣とやとし  
あるさそん

くぐいのりさこくさあびりか  
版のつこ乳難小兒乃下血故  
るさそん治し辣とやとし  
あるさそん

えんごの虚劑と名を米乃粉と同  
く炒乾し〜用ひきて痔瘻  
婦人陰瘻と治し巨淋酒と和し  
と服せられ賊風麻痺と平一酒  
よつらり〜痔瘻血運と名あり  
藏とわらぬ小便と名あり耳鳴と  
名あり。か〜とらり乃た〜とこと  
とくろり〜こまぶつ〜皆おひ食  
すり〜となすき人の〜のうらふ  
〜とあり〜む風乾と〜とすひ  
〜り〜らんあ〜小和〜と食を  
と〜と氣〜と〜と〜と〜と  
ゆ〜と食と〜と風痛と〜と驚  
肉と〜と小食と〜と〜と人〜と損  
か〜と〜と肉と〜と〜と食と〜と

道尸と名ひ〜と〜と〜と〜と食す  
と〜と泄瀉と〜と〜と〜と〜と  
と〜と〜と食す〜と〜と子瘡と〜と  
〜と〜と〜と〜と〜と食と〜と〜と  
〜と〜と〜と〜と〜と食と〜と  
ひ〜と〜と〜と小兒乃瘻瘻小食す  
〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
卵白 氣味丹微寒血毒目熱  
あり〜と〜と〜と〜と心下の伏熱と  
〜と〜と煩滿欬逆と〜と小兒下世  
婦人乃た〜と〜と〜と〜と〜と小  
〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
ひ〜と〜と〜と一宿〜と〜と用ひ〜と〜と黃疸  
〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と  
〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と

ふわきこころありあり

卵黄 氣味甘温無毒酢少く

者く瘡は乃痢病小兒乃毒熱

と煮く食をせし煩熱と

と鍊過とせし嘔逆と

と治と平小かあつさ

かまゆく又ち牧らめし

通せらる者とせし

雉 氣味酸微寒無毒中

補ひん力とすし

毒あり故ふ九月より

く稍くと補ふ此月ハ

と奈胡桃と印し

眩暈心痛とむすく

く食とせし入痔と

ころふ血とらごと

食とせし食とせし

とせしとせし

乃びざらもの

うびひわつひ

損おほし

食とせし

鷓鴣 氣味甘平有

とせし中とせし

美臍とあり

喘息とあり

とせし

食をまじし人をやらむと  
 食をまじし肥兒と生すなりと  
 うと厚く食をれん人とおむと  
 大まじしひまじしと厚く食をれん  
(腰痛病)  
 寸白皮と生すと餘六并ふと厚  
 竹雞 氣味平無毒野雞  
 病と治しむとこも  
 秋雞 氣味平無毒蟻癭  
 と治し人とまじ  
 鶉 氣味平無毒五菴と  
 補ひ中とまじ氣とつとこも  
 初と実一寒暑とあまめ結  
 熱と消しあづとあまめ和して  
 者食をまじ世南とまじ小兒存  
 下痢ふふ小兒存食してまじ

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

鶉 氣味平無毒諸瘕陰

とあつめ小使とらめ血崩帯下  
と治し精髄とすくみ藏ふとの乳  
補ふ常食とらふよろし。○李氏合  
食とぶくびくくみかんかすめと  
食しと酒とのつ子微乱たり  
腎かしくゆぐく食とましくり  
2 黙と生ん。○凡白木と根と  
子人し心

雀卵 氣酸温毒五月小こ  
まよとる氣とらぐ男子陰痿  
くおとらぐとつとく精とれ  
ほくくみわし心

雲雀 氣味辛温毒中補  
ひ陰痿くおとらぐと治し虚勞  
は損赤下痢と腫とかりて食すと

蒿雀 氣味辛温毒陽道と  
く精髄と補ふ

巧婦鳥 氣味辛温毒あかり  
食とれん甚うくんとく目わこ  
らく年とかりし心

燕 氣味酸平有毒痔瘻瘰  
瘻とかと。○ひ病なくして食すと  
食すとす人の神氣と損と

○林禽類

班鳩 氣味辛平毒目と  
あまかりと氣とく陰陽とた  
まき久病虚損ふとと食して  
氣とくあひんとく噎とらし  
鳩鳩 氣味辛温毒神とや  
すく志とくめんとて神と

アスチルチルチル

青鶴 氣味辛平無毒入花

とをすく一氣と大丁を處損とか

とわひうとととひ血とと一切の

瘡癩癰腫と治と

衆鷹 氣味辛温無毒皮膚

とす一肌肉の産癰と治と

伯勞 氣味辛平有毒小兒ひと

とわづりく用也

鸞鶴 氣味辛平無毒五疔と

と血ととわづり食とと吐噎

と治一氣とととととととと

老嗽と治と

隼 氣味辛温平無毒氣と

まう一風疾とのぞく

鸞鳥 氣味辛温無毒陽氣と

めとわひま一脾とれすまこま

食すまこ移とまひ

啄木鳥 氣味辛酸平無毒疔

瘡とととととととととと

孔乃甲ふいまこ一勞疾とれ

い風痛ととと

慈鳥 氣味酸鹹平無毒勞

とととととととととと

とけ咳嗽とととととととと

と味ふひとととととと

鳥鴉 氣味酸咸平無毒勞瘦

骨蒸欬嗽よくろやとととと

とととととととととと

晴風頭痛鬼魅吐血と云ふは  
ありき。肉を少くくして食す  
毎くふくくく骨尻にひた  
痛しと云ふ也

鵒 氣味丹寒。無毒。性熱と  
くりかんととやめ。小腸をから  
四肢の熱熱胸膈のむと云ふは  
ひと云ふ也。婦人食と云ふす

杜鵑 氣味丹寒。無毒。性熱  
ひと云ふ也。婦人食と云ふす

小鳥 諸乃小鳥。大抵氣味丹  
くしておぼく食く害と云ふと  
見ればさしと病なればく食す  
なすしと云

○ 山禽類  
野狐邪魅と云ふと

鴉 氣味丹温。無毒。鼠麴と  
うがり食と風頭痛と云ふと

鴉 氣味丹温。無毒。鼠麴と  
これ食と云ふと云ふは

鴉 鴉成食く積と云ふと云ふと

鴉 癩疾一一隻と用くと云ふと

○ 獸部 畜類  
豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
くくくくく熱毒と云ふは  
氣味酸冷と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

豚 氣味酸冷。無毒。性寒と  
豚と云ふは

了るは火をいし湯寒むる病  
 痔諸病の食としし必再弁と又鳥  
 梅黄連胡黄連桔梗と又とこまこと  
 おうむは四劑と茶早及と風と  
 こす生薑と印しく食とまの酒  
 煎と生し風とおし蕎麥ふ食  
 もれくも髪とおと風病と  
 しく葵菜と印しく食すまの氣と  
 へは存とたう胡菜と印しく食  
 すまの脂とまのうす牛肉ふ食  
 食すまの虫と生し雞子餅と  
 黄ふ合食とまの乳とまの油と  
 一かめと合食とまの人とやぶら  
 承胎膏 氣味并散寒血毒冷

結とまの宿血とらじし小便と  
 通し入直水腫とろろと血脈と  
 斜し風熱と散し肺とろろり  
 癰疽と治し産婦多かりざり  
 物 氣味鹹酸温無毒又脆  
 とあすし絶傷と補しんを  
 方とろろく胃乃れとろろく  
 陽乃とろろ人ひあしひとあま  
 腸とあつし下焦とろろめ精  
 髓とろろ血脈とおとろろ煮て食  
 とろろ丸大と食すろろ小血とろろ  
 ひ人ふあまかろ 氣味とろろ香  
 仁と果子の人あし同く食と  
 走る人あまかろ 氣味とろろ香



可成て大人と生んたれは合身  
食しん清湯でむんこめ食  
たまに子一とあり熱病のはもと  
食すれり人ところも九月小食す  
ますたれ神と申す凡大草を  
あつととん黒天白大斑大こま  
ふづく牝犬むう一層に病あり  
樹大の狂とれすすびくく死す  
りたふ毒あり懸蹄あり者人  
あつ目赤も乃服わくして躁  
めの並よはの合とてうべ  
羊 氣味若耳大熱毒中  
とめあひひ氣とまういさとし  
胃とのうらうらとすやう驚  
とつとつとつとつとつとつと

乳乳乳頭腦大風汗出産勞寒  
冷五勞七傷小兒乃致痛と治と  
○此乃合とれ必熱とあす羊  
交草蒲といひ

牛 氣味耳温無毒中と治  
すう一氣とまう脾胃と申す  
ひうらとわとぬひ消湯及唾涎  
ととむ○白牛とてん黄牛乃  
肉とて毒あり葉毒とわう病  
ととてり黒牛を食とてうべ  
あ牛惟食まわの合一牛病て  
死すたのる痲疫瘧とあす  
人とも洞下症病とて黒牛  
頭とての合とてう羊獨肝の  
下の

水牛肉 氣味中平無毒清湯

と治一中とをすく一脾胃とや  
一がひ屋と補ひすらはひとつよ  
く一水腫と消一濕れとろく

水牛乳 氣味中微毒無毒虛

勞とがふぬひかきととめ肺  
と中一がひ熱毒とと中一皮膚と

くらひ一蒜一和一と煮併して  
食とれ一冷氣痰癖ととり姜

葱と入く煮食ととと小兒

乃乳とととととめ反胃熱噦

と治一太陽ととらり一氣痢と

とと黃疸とのそを老人病と

者も食をもととけはるるるる

○水牛 藏府とらほひと續断能を

つふた本草と見たりととと

と日本特乳と用らるるゆへ

独とととわぐ

馬 氣味辛苦冷有毒中

とととの熱ととのそと氣とと

ととすらはひのとととととと

ととつとととととととととと

一肺とととと寒熱癆瘵と

ととと純白かり牡馬とととと

考とと食ととと餘ハ消一がとと

清火とととととととととと

して煮たりとととととととと

とととととととととととと

とととととととととととと

食らるるを食らるるの類  
人ともろと若木若耳と肉と  
食らるるし必死病と均く十小  
九まで死とあると食らるる  
毒とわらる若の葉根の汁と  
飲ばるる食らるる解とア

獸類

野豬 氣味平平無毒又脆  
とま 肌膚とあまひ塵氣と  
ナ 癩病と治とあまひ食らる  
腸風浮血ととむひびあわと  
とりの食ととらるる風とあ  
とと豆と服とらるる食とむ  
豪猪 氣味平平有毒素大

腸と刺と。若の食らるる  
風とれらるる塵と心

熊 氣味平平無毒同痺  
下らるるの石と治らるる塵瀰と  
補ふ熊掌ハ食らるる風をとらる  
と氣力ととまらるる。癩疾積  
聚わらるる食ととらるる治ま  
てのそらるる十月の食らるる  
とらるる神ととらるる

羚羊

氣味平平無毒惡痰  
又味と和らるる炒熟して酒ふ  
入らるる食ととらるる食とら  
りひひとらるる中風と治らるる

氣味平平溫無毒中と補ひ  
又脆とらるる

しやんやん 補ひ血脈と  
の産は風塵邪神と作と生  
中風くらうじとやと或は  
或は肺やと酒と同一く食て  
。九月の辰月以ち食を  
毎し池月食とれと冷痛と  
三寸鹿のびのまらともの約乃  
文ありの並し食すべしと因わ  
ありとくとうぬのあは今て  
く也成なりてかしくざりの并  
し人ところと雉統殿と同一  
食とべしと要瘡とわと按と  
子と畜獸の乳は皆穢しと也  
して君子の食也とりの者生  
と真心者ぬく食と純心老人

貴人の人をもとぬと  
子と憂てこまるとりきたす  
と及く害と憂う者あり呼生  
と教の徳を我神と戒分  
ふたり教者神をとう訓て  
や天照之孫乃ひ也と食とらと  
嬉ひまをり宣なり唯しひ也  
かきうう守畜類皆遠く可  
ありあうとと病ありと食と  
子に命と松乃権あり醫の  
まを施しとれ徳とありひらひ  
乃二山と今の人病ありとぬ色房  
外のとあは食と既しぬ色父母の  
遺体とともありと或やそのとあり  
擲心とたす神と罰

諸人のゆり人交り  
麩 氣味辛温無毒  
中とおさひひくしりとおさひひく  
勝ふるの氣とわさあふひひ  
合はれし房ふしとさひひくし脚  
とれたるふくしめんを合とさひひ子  
同とさひひくし猪雞合しと合と  
産くひひ痼疾とさひひ鍛生菜梅  
李と肉く合とれが穀子乃精  
又食品小入と故用ひ牛 辨り  
ゆく食とさひひ  
氣味辛平無毒  
氣味辛温無毒  
氣味辛平無毒

氣味辛温無毒  
くかりと治と羹腫とあくと痔  
鼠瘻とやとゆかり中と補ひ  
氣味辛平無毒  
とりのさひひを神とさひひ  
氣味辛平温無毒煮り  
食すとさひひ虚損と補ひ又花の  
非氣とさひひ虫益毒とさひひく  
を熱とさひひのふくしりく鱈ふつ  
つとく生とく合とれし中とわさ  
ためひとさひひ産勞と補ひ腸と  
月と腫と食とさひひ瘡疥ひさ  
しつとさひひと治と。首とさひひ  
ア人との治と  
猪 氣味辛平温無毒元藏乃

産勞子入産一れりまらるる水と  
猫 氣味辛平無毒水脹久  
瘰癧と死ふつらんともる者

美しきあしを食とせし水とら  
一六小効あり丹石と脹一と熱

とらとら下痢赤白久一と  
ざら小肉と煮く一夜落し

一すさうふお小和一と  
合とれと瘰癧よめり又煮て

味と和一と合とれら肌肉と  
豺 氣味酸熱有毒人の精

外とらん一脂肉と消し者心  
狼 氣味鹹熱無毒又蒸と

とらひまう腸胃とあつと骨  
髓とらゆめ積とらるる

兔 氣味辛平無毒中と  
補ひ氣と中一熱と濕痺との

そとらひまうとら脾とすや  
くひりゆかり食とせし丹石乃

毒と可一血ととら大腸  
と利一熱毒とららららら

る食とらうとら鉄唇乃子とら  
雞とらゆとら食とせし面黄なら

しとら癩と合とら食とせし眞  
とららららららららららら

とら心痛霍乱とら心芥とら  
合とらとら守久とら食とせし魚

脈とらとら元氣陽とらとら  
とらとら癆黄とらとら八月とら

小とらとら養とらとら餘月とら

子ノ陽氣カハと申す者、カハ故小腸ノ中ニ陰氣  
 味辛熱無毒陽虛一陰痿精寒  
 水瀝カハ氣味辛鹹寒無毒水  
 病脹滿熱毒風骨蒸熱勞血  
 脈めづると女子ノ經終りて  
 子ノ陽氣カハと申す者、カハ故小腸ノ中ニ陰氣  
 味辛熱無毒陽虛一陰痿精寒  
 水瀝カハ氣味辛鹹寒無毒水  
 病脹滿熱毒風骨蒸熱勞血  
 脈めづると女子ノ經終りて  
 子ノ陽氣カハと申す者、カハ故小腸ノ中ニ陰氣  
 味辛熱無毒陽虛一陰痿精寒  
 水瀝カハ氣味辛鹹寒無毒水  
 病脹滿熱毒風骨蒸熱勞血  
 脈めづると女子ノ經終りて

子ノ陽氣カハと申す者、カハ故小腸ノ中ニ陰氣  
 味辛熱無毒陽虛一陰痿精寒  
 水瀝カハ氣味辛鹹寒無毒水  
 病脹滿熱毒風骨蒸熱勞血  
 脈めづると女子ノ經終りて  
 子ノ陽氣カハと申す者、カハ故小腸ノ中ニ陰氣  
 味辛熱無毒陽虛一陰痿精寒  
 水瀝カハ氣味辛鹹寒無毒水  
 病脹滿熱毒風骨蒸熱勞血  
 脈めづると女子ノ經終りて  
 子ノ陽氣カハと申す者、カハ故小腸ノ中ニ陰氣  
 味辛熱無毒陽虛一陰痿精寒  
 水瀝カハ氣味辛鹹寒無毒水  
 病脹滿熱毒風骨蒸熱勞血  
 脈めづると女子ノ經終りて

はし家武家小つるまをちり  
いふとあつたりも物又まの  
あつとせひよわすあつては  
その肉をわがとつていふ  
と用ひてさなり

○角類

鼠 氣味辛熱毒小兒の  
喘急大腹寒熱諸を小わつり食  
と又疥癩くくえつと食と  
えつ者小牡角ととりく黄泥ふ  
つとやとくほひととりの肉と  
つと味酸少く煮て食せし  
又骨蒸勞熱と作しつととる  
○わつと食すつとつとれ甚くと  
とる

ムカシ  
モチ

ムカシ

鼯鼠 氣味鹹辛無毒風熱又  
積く血脈めづくと結く  
瘰癧と成と作と小兒こまを食  
ととて蛇虫ととるもあがり  
合すもく諸瘰癧瘰癧らやと  
と久し合とれい風ととり  
瘰癧瘰癧とやと

黄鼠

氣味辛平無毒肺  
ととるは津と生と膏ふと  
て瘰癧と斯とれと毒とく  
つととと

鼯鼠

氣味辛平無毒  
油ととんとて瘰癧ふととる  
ととる

○寓類



猕猴

之氣味酸平無毒療

夜とより諸凡勞と中一脯と

あし食すまじく久しとがかり

と液と酒と此らりてより

了當上御書

了當上御書

了當上御書

了當上御書

了當上御書

了當上御書

了當上御書

了當上御書

了當上御書

了當上御書

卷之三

